

第17号 2018年7月

里づくり

人に学び、
地域に学び、
今できることから始める。

CONTENTS

- ◇地域づくりリレーインタビュー
働く女性の笑顔がつながるプロジェクト NorthWoman さん
- ◇実践！地域づくり
ユペの里 さん
- ◇ふる水事業実施地区紹介
別海町 チームNKB さん
- ◇トピックス

地域づくりリレーインタビュー

ノースウーマン North Woman



North Womanのみなさん。

左から、竹田さん、檜山さん、繁富さん（代表）、田代さん。

起業をしたい・している女性の「想い」を応援する団体。

学びの場、気づきの場、成長の場を大きなテーマとして、各種セミナー、イベントを開催している（お子様連れも大歓迎）。

●最初に、North Woman はどんな団体ですか？

（繁富）簡単に言うと、「起業をしたい女性を応援する」団体です。起業という、がつつ稼ぐぞーというイメージがありますが、好きなこと・やりたいことを無理のない範囲で実現したいという想いを応援しています。

●この団体を立ち上げたきっかけは？

（繁3年前、私の子どもが2,3歳の頃ですね。起業をしたいと思っていたのですが、子連れで行けるセミナーが全然なかったんです。その時、同じ悩みを持つ人が多いことに気づいて、それなら自分たちで講師を呼んでセミナーを開いちゃえばいいと仲間を集めたことですかね。自分が過去に困ってきたから、悩んでいる人を助けたいんです。

●みなさんがあったらいいなと思っていたことを企画しているんですね。

（繁）そうですね。プロジェクトを組んで、多種多様なイベントを開催しています。占い、お菓子、ネイル、ファッション…：色々な特技を持った方が出店するお祭りのようなこともあります。自分をアピールできる場って中々ないので、ここでたくさん人と出会ってほしいです。

●今日いらっしゃるメンバーのみなさんは、どうしてNorth Womanに入ったんですか？

（竹）私はネイルサロンを経営しています。うちのお店は、子どもができてから夜間営業を止めたり、営業形態を変えざるを得なくなって、暇になってしまったんです。ひとりのぼっちでサロンに閉じこもっていたか

ら、外と関わりたくないなという思いが強くて、そんな時※FBでセミナーを見つけて、参加して、すぐに「入りたいんですけど」って言いました。その時の直感は間違ってたなって思っています。

（檜）私は当別町で農家をしているんですけど、農家としてだけではなくて、書家としての活動もしたいと思っていました。でも、どうしたらいいかわからず、一歩踏み出す方法を探していました。そして、FBでセミナーのを知って参加したのがきっかけです。ここで得たことは、書家としても、農家としても役立つと思います。

（田）私は元々コワーキングスペースを利用していたんです。一時期そこが閉まったことがあって、丁度North Woman が別の場所にスペースをつくってくれて、そこに顔を出すようになった。そうしたら、代表たちが定例会議をしている日があって、「飛び込みでやってみる？」って誘われて、参加したのが最初かな。

●色々な形での出会いがあったんですね。失礼ですが、「この活動はどのくらいの収益があるのですか。」

(繁)H社のプロジェクトの受託と、イベント毎に出店料などをいただいているくらいで、ほとんど収益はありません。みなさん、ボランティアしていただいています。人との繋がりは、たくさんできますよ。

●活動をしていて、辛かったことはありますか。

(繁)イベントの準備とか、その時は大変って思っても忘れちゃうんですよ。みんな良い方ばかりなのでトラブルもないし、その時が大変でも解消されるので引きすることはありません。みんなに癒やしてもらえます。

(檜)何かをしようとしたら、それに適したメンバーが自然と集まるんです。やっぱり、代表はすごい！

(竹)采配が上手ですね。
(田)代表のカラーですね

●代表の繁富さんが、誰かのために動いているから、みなさん助けて下さるんですよ。

(繁)嬉しいですねー元々、法人なわけでもないのに、失敗しても失うものがないんです。失敗を恐れてちゃ何もできないですよ。

(田)繁富さんは、「こうでないといけない」「こういうのが無いんです。起業するとなると普通は」「これをやらなきゃいけない、これでなんとかしていくべき」と言われます。でも、それではうまくいかなくて、どうしようと思んでいた時に「こういう方向じゃなくても、これをやりたいなら別のアプローチの方法もある。やり方にこだわらなくていい」とあってささり言ってくれて、目から鱗でした。それからはパートをしながらこの活動をしたり、好きなことしたりバランスをとって充実した生活を送っています。

(繁)女性の「起業したい」として、元々の想いが誰かの役に立ちたいとか、地域を元気にしたいとかなんですよね。稼げなくて潰れちゃうよりは、想いを引き継いで自分が生活できる方法を見つけた方が納得できるし、見ている方も辛い。無理する必要はないと思います。

●想いを応援してくれる、素晴らしい御活動ですね。最後に、みなさんの今後の抱負を教えてください。

(繁)今年は、本人を代理してマッチングとか、企業さんにご提案できるような部門を法人化したいと思っています。法人対法人というのを企業さんからは求められるので、そこをNorthWomanが請け負って契約できるような会社をつくりたいと思っています。これからも、みなさんがもっとイキイキできるように、何かをしたい方を精一杯応援していきます

す。
(檜)私は世界進出です。お米も、書家としても！

(田)私は、家庭の事情とか色々ある中で、細々といいから自分の好きなことも続けていきたいなと思っています。

(竹)好きなこと、一番夢中になれることを続けて、自分らしく生きていける道を見つけていけたらいいなって思っています。NorthWomanに入ってから、自分は生活がすごく大変わりして。辛いことも楽しいこともありましたけど、世の中の女性を応援したい、社会のためになることをしたいって気持ちが出てきて、そういう活動をしている自分もいいなって思っています。

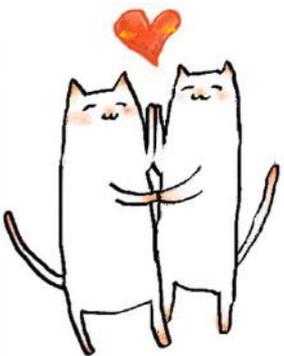
(繁)NorthWomanは女性を応援しますって言っているのに、なんだか私が応援されているんですよ
(笑)ありがたいです！

●みなさん、貴重なお話を

ありがとうございました！

イベントの
情報など、詳細は
NorthWomanの
Facebookにて！

↓↓チェック↓↓



ユペの里

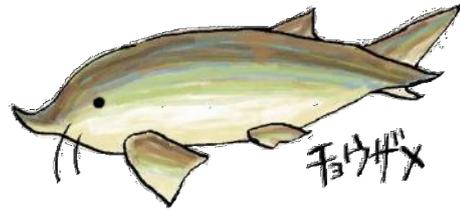
北海道オホーツク管内湧別町のJ A ゆうべつ町女性部ゆうべつマルシェ部会に所属している、「ユペの里」のみなさん

湧別町の新しい特産品にと「牛乳うどん」の美味しさを広めるため、今日も活躍中!!



今回お話を伺ったユペの里の新旧役員みなさん。
後列左から越智さん、臼井さん、水谷さん。前列左から松田さん、久保さん。

湧別町は、オホーツク海沿岸に位置する町です。湧別は、アイヌ語でチヨウザメを意味する「ユペ」から来ていて、ユペの里の名前も、そこからとられています。



ユペの里は、地元食材の牛乳の普及及び食育の活動を行っています。

湧別町は酪農が盛んな地域ですが、サロマ湖を擁しホタテ・カキの養殖などが有名な漁業の町でもあります。そのため、研修などで訪問する際の視察先へのお土産はいつも海産物でした。「せっかく湧別は農畜産物もたくさんあるのにな」

「でも、海産物以外のお土産もないよねえ」…それなら、自分たちでつくってみよう!と熱い思いを胸に、ユペの里のメンバーは立ち上がりました。何をつくろう、となった時、

絶対に取り入れたかったものが「牛乳」です。自分たちの家のもの(地元のもの)を使った商品をつくりたいという思いからでした。

最初に試作品としてパスタを考えました。しかし、パスタは乳製品を取り入れるのが難しかったため、断念することに。他にも、規格外品を使ったときびポターシユなども試作したところ、砂糖を一切使っていないのにとても甘く美味しくできたのですが、原料となる規格外品の確保が難しいということに断念しました。

試行錯誤の中、とうとう辿りついたのが「牛乳うどん」です。水の代わりに牛乳を練り込んだ「うどん」で、真っ白いつるっとした口触りが特徴です。ふる水事業で成分分析した結果、

普通の「うどん」よりカルシウム等が多く含まれ栄養価が高いこともわかりました。茹でるときにふわっと牛乳の優しい香りが広がりますが、麺そのものからは牛乳の味はしないので、和洋中、スイーツまで色々なアレンジを楽しむことができます。

現在販売している商品は全3種類となっており、「乾麺の牛乳うどん」、「半生麺の牛乳うどん」、「半生麺のかぼちゃ風味牛乳うどん」というラインナップです。かぼちゃ風味の麺は、道内産のカボチャを使ったパウダーを使用しています。一口食べると、カボチャの優しい甘さがほんのりと感じられ、鮮やかな黄色は食卓に彩りを与えてくれます。

よく、「牛乳うどん」と言っていると「スープが牛乳なの?」と聞かれることが多いのですが、麺が牛乳だけで練り込まれている「うどん」です。この記事を読んだみなさんは、お間違えなく!



牛乳うどんのレシピが満載のパンフレット



もちもちで、おいしいね！



美味すぎる！？
秘伝のかりんとう



「ユペの里」は、Aコープの収穫祭や町の産業まつりで試食販売をしたり、サロマ湖LOOKMマラソンなど、町内でのイベントを

中心に販売しています。販売の他にも、今年には湧別町の成人式で半生麺の牛乳うどんを素揚げしてピート糖を絡めた「かりんとう」を可愛くラッピングして配りました。他にも、町内の小学校でも食育授業の一環として「牛乳うどん」づくり体験

活動を初めてから5年が立ちましたが、振り返ると当初は「牛乳うどんの後ろを私たちが追いかけていた」とのこと。せっかく完成したものが売れなくて無くなってしまっただけで残念だから、とにかく必死に頑張っていたそうです。今では、イベントの度に楽しみにしてくれるファンも出来ました。

ユペの里のこれからについてお伺いすると、「売り上げもそこそこになったことだし、このままマイペースにやっていきたい。」との声。指導員の久保さんからは、「何を目標としているか、どっちの方向に行くかもまだわからないけど、走り

続けていきます。」とのこと言葉をいただきました。

湧別町は、山の幸、海の幸どちらにも恵まれた豊かな町です。ですが、知名度が低いのが悩みの種。

牛乳うどんを通して、湧別町の魅力を多くの人に知ってもらうことができれば良いですね。

牛乳うどんを通して、湧別町の魅力を多くの人に知ってもらうことができれば良いですね。

湧別にきたら、「牛乳うどん」！



事業実施地区紹介 ～別海町別海地区・チーム NKB～

別海町は乳・肉合わせて牛が1万頭を超え、生乳生産量日本一を誇る大型酪農地帯で日本を代表する牧歌的景観と、北海シマエヒ・鮭など豊かな水産資源を有する自然に恵まれた地域です。

そんな別海町内の酪農女性は酪農業や家事に追われ、積極的な仲間づくりや地域資源を活用した加工品づくりなどに取り組みゆとりがありませんでした。

このことから『チームNKB※』は、平成25年度に別海町内の指導員さんが中心となって発足し、新たな地域資源として、まずはハーブをテーマとした取り組みをすすめ、女性の輪(ネットワーク)づくりを並行させながら地域活性化を目指しています。

活動を進めるに当たって、既存の活動母体が無かったため、ゼロから「チームNKB」を立ち上げ、冷涼な地域でのハーブの栽培方法や活用方法を学ぶための先進地視察を行ったり、実際にハーブを栽培したりしています。また、加工研修としてハーブ入りソーセージやハーブティーを作り、女性農業士会の会合で紹介などしてきました。

参加した方からも「別海でハーブを育てていてビックリ!」「美味しい」「また誘ってほしい。楽しみにしている」との言葉をもらいました。

今年は親子で参加できるイベントの開催も計画し、そのひとつとして石鹸づくりを行う予定です。指導員さんを対象に行った試作講習でも比較的簡単に作る事ができました。

酪農家は日々の営農で時間的制約も多く、集まる機会も限られますが、無理のない範囲で活動を継続させ、少しでも女性の輪(ネットワーク)が広がっていくことを願っています。



ハーブ畑



ハーブクリーム作り



ハーブティーブレンドをする指導員さん

※チームNKB：町内にある農協(合併前を含む)の頭文字に由来

(N：中春別、西春別
K：計根別、上春別、B：別海)



ソーセージ作り



石鹸作り

トピックス。

平成30年度北海道中山間ふるさと・水と土保全対策事業に係る研修を次のとおり開催します。
申し込み方法などは、後日、各振興局等を通じて御案内いたします。

地域づくり研修会。

日 程：平成30年9月11日（火）13：15～

場 所：ポールスター札幌2F

○基調講演

講師：(株)studio-L 山崎 亮 氏

○パネルディスカッション

コーディネーター：山崎 亮 氏

パネリスト：山形県ふる水指導員数名

宮城県ふる水指導員数名

北海道ふる水指導員数名

現地研修。

日 程：平成30年10月23日（火）～24日（水）

場 所：石狩市、岩見沢市、栗山町、夕張市

研修先：美登位創作の家、北の大地マルシェ、
雨煙別小学校、夕張市内



ブロック別ミーティング。

【道東ブロック】

日程：平成30年7月24日（火）～25日（水）

場所：弟子屈町、鶴居村

【道北ブロック】

日程：平成30年8月1日（水）～2日（木）

場所：中頓別町、豊富町、稚内市

【道央ブロック】

現地研修と兼ねる

【道南ブロック】

日程：11月上旬

場所：檜山管内

みなさまの御参加を
お待ちしております！

表紙紹介。

表紙の写真は上ノ国町の片石さんよりいただきました。

みなさん、この鮮やかなお花、なんのお花だと思います？

なんと：「さやえんどう」のお花です。爽やかな青い空と、緑色のさやえんどう、赤いお花が目を惹く初夏を感じさせる一枚ですね。

上ノ国町は、今年度よりふる水事業実施地区として活動をはじめました。みなさんも、これを機に「上ノ国町産のさやえんどう」を応援してくださいね。



あなたのまわりに、ふる水事業を使って
地域住民活動がしたい方はいませんか？

あの人、活動をすごく頑張っているから応援したい！
行政から支援を受けられるようなものはないかな…？

地域にそんな方がいらっしゃったら、是非ふる水事業をおすすめ
してください！

事業が気になる方、やってみたい方がいらっしゃれば、担当者が
御説明に伺います。

